

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

シリーズ
「森林官からの便り」

【飛騨森林管理署 三日町森林事務所】
首席森林官 羽田野 佳春

三日町森林事務所は、高山市の最南西部に位置する清見町内に所在し、分水嶺の西ウレ峠を境に、馬瀬川（太平洋側）と川上川（日本海側）の水源流域に、十箇所に点在する、約四、四四〇鈔の国有林を管轄しています。

清見町のほぼ中央を南北に縦断する「せせらぎ街道」は、ブナ、ナラ、カンバなどの新緑や紅葉等、四季折々に大自然を満喫できる人気の高いドライブコースで、沿線には、おおくら滝、カタクリ群生地、ラベンダー園、キャンプ場、木製品展示販売場（ウッドフレーム）などの見所もあります。

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

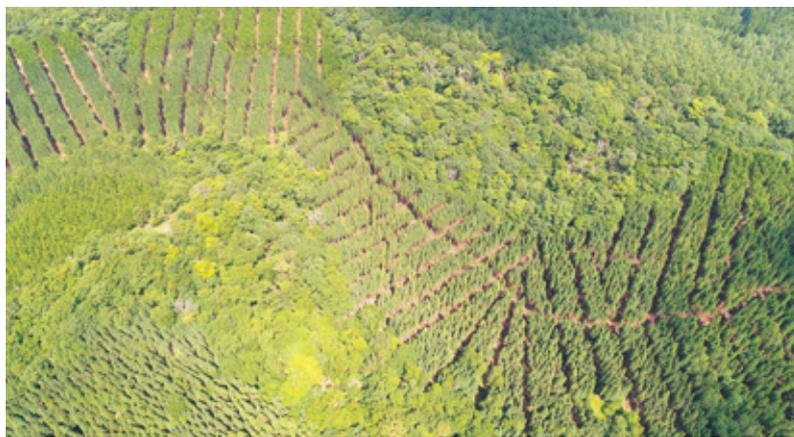


紅葉のせせらぎ街道

当部内の国有林は、人工林率が、九〇%と高く、間伐の適期を迎えた森林からは、年平均で約百鈔、七千〜八千立方メートルの木材が生産されるとともに、林内に存置する間伐も実行しています。

また、契約期間の満了を迎えた分収育林も多く、毎年五〜十鈔の皆伐があり、年々地拵えや植付、下刈が増加しています。

近年は森林のみならず、里山地域においても、ニホンジカの食害



マツ谷国有林（高山市）列状間伐

が顕著になってきており、林内には、センサーカメラを設置し、生息状況など分析するとともに、地元猟友会に情報提供を行い、獣害駆除に協力しています。

このように様々な業務を、森林官、行政専門員、非常勤職員の三名が連携して取り組むとともに、来年度から始まる森林計画に基づく伐採、更新等の準備を進めています。



就業体験生に指導する様子（左が筆者）

■未来の担い手へのメッセージ

五十代後半となった私は、これまで、中部森林管理局管内四県の森林管理署で、造林、生産や管理業務を経験する中、それぞれの現場の峰々から森をながめ、先人の苦勞を感じてきました。

この山々は、先輩諸氏が守り育てた貴重な財産であることを自覚し、私も同様に引き継ぐため、残りの時間を精一杯、誇りを持って業務に取り組みたいと思います。

そんな山官リレーのバトンを、一人でも多くの若い人に手渡すことができたと思います。

もり 〈森林のお仕事紹介コーナー（森林・林業）〉

令和元年 10月

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



細川木材株式会社

三井 貴史 (二〇一五年入社)



「緑の雇用」研修生 (3年目)

■事業の概要

請負事業：森林環境保全整備事業 (保育間伐活用型) 南信5西嶽

発注者：南信森林管理署

事業地は、長野県と山梨県にまたがる八ヶ岳の裾野に位置する西嶽国有林で、間伐四五・四二ハク、生産材積三、四二〇立方メートルの素材生産請負事業です。なお、当該事

業は一部、生産性向上モデル事業地に指定され、事業開始前や途中にも会社全体で、効率的かつ低コストな作業方法を話し合っ進めることができました。

■現場での役割、魅力

チェーンソーによる伐採、グリップル、ウインチによる集材、ハーベスタ、プロセッサによる造材、フォワーダによる林内運搬など、全ての作業の習熟のため、日々違った作業を行っています。

作業は、その日、その時の状況で、それぞれに合った方法を考える必要があります、常に頭を使い効率的な作業に努めています。現場では全く同じシチュエーションがな



ハーベスタによる造材作業



フォワーダに積込作業

く、自分で考え作業を行い、完了したときの達成感にやりがいを感じています。また、手本となる先輩方がいるので、一つでも多くの技術を勉強し、早く周りに追いつき、いつの日か追い越そうと、日々技術の向上に取り組んでいます。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

林業を始める前は、製造業に従事していましたが、そんな時に細川木材株式会社に勤めている友人から、「一緒に働いてみないか」と誘われたのがきっかけでした。最初は林業とはどんな仕事だろうと漠然と考えていましたが、自分

で調べていく中、作業や機械に興味が増くと同時に、体を動かす仕事であること、友人から、「やりがいのある仕事だ」と聞いていたことで、この世界に入ってみたいと思いました。

■未来の担い手へのメッセージ

「林業ってなんだろう」という疑問から始まり、今では新しい仲間もでき、本当に林業界で働かせてもらえて良かったと思っています。自然が相手の仕事で、状況に応じた技術を身に付けるため、学ぶことが多く、大変やりがいのある仕事だと思います。少しでも興味があったら、飛び込んで、一緒に盛り上げていきませんか。



カラマツの伐倒作業

■事業の概要
 請負事業…三方崩（弓ヶ洞2）
 復旧治山工事
 発注者…飛騨森林管理署
 本工事箇所は、岐阜県白川村三方崩国有林の弓ヶ洞に所在し、この流域で度々発生する土石流や、



小坂建設株式会社
 清水 圭一
 （二〇一六年入社）

シリーズ
 「林業土木業界からの便り」

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

■現場での役割、魅力
 私の現場での役割は、測量、丁張り、写真撮影、出来形管理、安全管理等、現場代理人見習いとして、補助的な仕事に携わっています。
 現場の自然環境は、毎日表情を変え、穏やかな日もあれば、雷雨など厳しい環境で、現場までの作業道に大きな落石がたくさん落ち



床固工等の施工地（ドローン空撮）

土砂の流出を防ぐとともに、下流の国道等を保全する目的で、床固工を設置する工事です。

■未来の担い手へのメッセージ
 土木業界は、3Kのイメージが強く、現場で作業を実際に経験し

ている時もあります。
 どの作業も、今後私が現場を担当する時、大変役に立つことばかりで、毎日新しい知識や監視などで、現場代理人に優しく分かるまで教えていただき、とてもやりがいがあつて楽しい仕事だと思えます。

■林業土木の世界に入ったきっかけ
 私が林業土木業界に入ったきっかけは、幼少期から重機や工事現場が大好きで、物心がついたときから、将来は土木の仕事をしたいと思つたのがきっかけです。入社当時は、様々な現場で経験を積ませていただき、作業に慣れてきた頃、今の治山工事の現場代理人が、「将来現場代理人になりたいのなら、山の現場で色々教えてやる」と声をかけてくれました。あの時のことを思うと、とても感謝しています。

てきた私も、心が折れそうになる時もありますが、一日一日が極めて充実しています。その理由として、作業が進むにつれて、完成に近づいていく実感があるからです。また、作業が進行する中、トラブルも起こりますが、現場代理人や協力業者さんと共に乗り越える達成感や、作った構造物が後世に残ることも大きな喜びのひとつだと思えます。少しでも建設業に興味・関心を持つ方は、みどり溢れる国有林の現場で一緒に働きましょう。



現場代理人と打合せの様子